「ファイン式御義口伝メモ」
http://777fine.web.fc2.com/

㉒自我偈始終の事

自我偈の始めの文字 ＝ 自
自我偈の終りの文字 ＝ 身

↓

自我偈全体として、日蓮大聖人御自身のことを書いたものであり、総じては信心する我々自身のことを書いたもの。
自我偈の「自」と「身」の間の文字は受用(活動)を示す。
(活動＝＝三身如来の所作)

↓だから

自我偈 ＝ 自受用身 を表わす

自受用身とは

「欲しいまま受け用いる身」と読み下す。
生命が他によって作られたり、支配されているものではなく、
それ自身に因果の理法を内包した、もっとも清浄で力強いものである
という意味。

⇩

真実の自我の確立、主体性の確立の究極を、
自身の上に示されたのが日蓮大聖人

一方…、
我々の現実は、煩悩・業・欲に支配されてしまっている状態。
（これでは自受用身とは言えない）
→ ここに御本尊と境智冥合すべき理由がある。

☆「自受用身は一念三千なり」

自受用身 ・・・ 久遠元初の自受用身
‖
日蓮大聖人の御内証
↓
人本尊を示す

一念三千 ・・・ 文底下種事行の一念三千
‖
南無妙法蓮華経こそ
↓
法本尊を示す

人法一箇を示している

（釈尊は法勝人劣　大聖人は人法一箇）

☆尊形の仏、尊形を出でたる仏

尊形の仏・・・色相荘厳の仏（三十二相、八十種好を備えている）
＝釈尊

尊形を出でたる仏・・・凡夫そのままの相貌（無作三身如来）
＝日蓮大聖人